

## 監修・編著者 序文

呼吸器科は感染症、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、悪性腫瘍など幅広い分野を取り扱います。その他にも膠原病、薬剤に合併する肺疾患や肺循環疾患、縦隔・横隔膜疾患などを診療する機会も多く、豊富な知識と経験が重要となります。最近では新規の臨床研究、治験結果の報告が非常に多く、多数の新薬が発売されています。ガイドライン、治療方針も目まぐるしく更新されています。高齢化に伴い、呼吸器疾患領域の症例は今後ますます増加することが予想されます。

この度、『必携！ 呼吸器専門医試験のための実践問題と解説』を上梓することとなりました。前述の通り、多種多様な呼吸器疾患に対応するため、常に最新の知識を習得し実臨床に応用することが必要となります。本書では2015年に日本呼吸器学会が作成した『新 呼吸器専門医テキスト』をはじめ、各種ガイドラインや治療指針、最新の論文などを参考に、すべての呼吸器領域に関する最新情報を掲載しております。紙面は問題、解説、ポイントに分けてあり、見開き2ページで1つのテーマを効率よく学ぶことができます。問題は実際の専門医試験に準拠し、知識を中心に問う一般問題と、臨床に即した実地問題を出題しています。出題内容は過去の専門医試験を参考にした内容や、最新のトピックスに関連した予想問題を作問しました。解説やポイントでは図や表を多数掲載し、読者が理解しやすいよう工夫を凝らしました。

本書はもとより呼吸器専門医試験を受験される先生方を対象に作成いたしました。しかし、基本知識から最新情報に至るまで呼吸器疾患の全分野を網羅した内容が掲載されているため、他領域の専門医師や研修医、医学生の皆さんにおかれても、知識の習得、確認に有用と考えております。本書が読者の皆さんの試験対策、さらには日常診療の一助になりますことを心より望んでおります。

最後に、本書の制作、編集に多大なるご尽力をいただきました医療科学社 齋藤聖之氏に深謝いたします。

2018年 1月

栗野 暢康

出雲 雄大